

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

1週間前は卒業式があり、皆さんの先輩たちが中央大学を巣立っていきました。先輩たちからよく耳にしたのは、「大学の4年間って、あつという間だった」という言葉です。もちろん個々に異なりますが、多くの卒業生の実感だったのかもしれません。その言葉は一つのこと、あるいはさまざまなことに意欲的に取り組む日々を過ごし、成長できた証しでもあると感じます。

かつて、コロナ禍で登校の機会の減ったある学生が、「人と知識、人と人との出会いを生みだし、学生同士が影響を与え合いながら相互に作用しあう場所」と、キャンパスの存在意義をたどっていました。

そう、キャンパスは学生同士が刺激し合う場です！

『やらなくてはならない』が『やらなくてもいい』に変わる大学生。大事にしていたのは『やらない後悔』より、『やる後悔』。そんなモットーを教えてくれた学生もいました。

そう、どうしようか迷うことがあったら、一歩前に出て挑戦してみよう！

多摩キャンパス桜広場のソメイヨシノは見ごろを迎えているでしょうか。強風や雨にさらされながら、硬いつぼみが膨らんで徐々に薄いピンクや緑色に染まっていき、花開くときを迎える。4年後、さらに成長した皆さんの姿を楽しみにしています。



「HAKUMON Chuo」は学業や研究、スポーツ、文化、ボランティアなど、さまざまな分野の活動に一生懸命に取り組んでいる中大生、大学院生を紹介する大学広報誌です。春号は毎年、入学式の日に合わせて、新入生や保護者の皆さま、在学生、卒業生らに配布しています。今春より各キャンパスで研鑽を積む皆さんの入学を心よりお祝します。

(編集長 北村 豊)

[STAFF]

■取材協力：学事部、各学部事務室、大学院事務室、学生部、ボランティアセンター、中央図書館、国際センター、入学センター、キャリアセンター、学友会、経理研究所、委員会ほか

■写真提供&協力：「中大スポーツ」新聞部

■学生記者：吉田未来(理工4)、金岡千聖(商4)、池田さくら(文4)、高橋来佳(文4)、木村結(法4)、渡邊弘将(国際経営4)、小林莉子(国際情報4)、松岡響紀(経済3)、伊橋佳七(経済3)、西桃香(経済3)、渡木彩文(文3)、九十歩胡春(文3)、荒田智海(文3)
= 順不同

■制作協力：株式会社トリッド



2026 春号 No.289
2026(令和8)年4月2日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1



“学生記者”になりませんか？

Would you be a student reporter?



(申し込み・問い合わせ)
中央大学広報室
「HAKUMON Chuo」編集担当
E-mail: hc-grp@g.chuo-u.ac.jp

「HAKUMON Chuo」は中大生が取材・編集する大学広報誌です。現在、学部在学生を対象に学生記者を募集しています。

- メリット
1

元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方や、添削指導などを受けることができます。将来どんなキャリアを目指すにも文章力は重要です！
- メリット
2

取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。
- メリット
3

記者活動を通して、コミュニケーション能力など社会に出て活躍するための基礎力を身につけることができます。



プロ野球ドラフト会議で指名された硬式野球部選手の記者会見＝2023年10月26日、多摩キャンパス